

第34回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時 平成28年8月8日(月) 14:15～16:30

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者:金谷委員長

住民代表:中島(茂)委員、東委員、

中邨委員、中島(仁)委員

事業者:深川委員

滋賀県:谷口委員

甲賀市:保井委員、中島委員、森田委員

公社:岡治委員

事務局:公益財団法人滋賀県環境事業公社

小林副理事長、木村所長、内藤副所長
奥野次長、清水副主幹



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 副理事長)

(2). 活動内容報告

1)水質調査結果について.....資料1

2)硫化水素自主測定結果について.....資料2

3)搬入実績について.....資料3

4)放射線の自主測定結果について.....資料4

【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

・処理水の COD 濃度、全窒素濃度が上昇している。今後の対策は基本的に活性炭吸着か？

→活性炭処理塔をいつでも稼働できるような態勢をとっている。COD 濃度は常時測定できているので、処理水の水质が 50mg/l を超え 55mg/l に近づいていくようであれば活性炭処理塔を稼働させることとしています。

・地下水について、塩化物イオンは 3 地点で違いが見られないものの、電気伝導率は、上流側と比べて下流側、地下水集排水管の方が高い。どのような理由が考えられるのか？

→電気伝導率の違いは、塩化物イオン以外のイオンが影響していると考えられる。

・上流側と下流側とでは、従来から開きがあったのか。開業前からの地下水の調査結果があれば次回に示してもらいたい。

→了解しました。

(硫化水素自主測定結果について)

・脱硫剤は反応させる前が茶色、反応後は黒色ということだが、脱硫剤の交換時期の判断は外観で行うのか？

→装置に蓋をしているので、目視にて内部の反応度合いを確認することは難しい。吸着処理後の硫化水素濃度を

測定して判断している。

・硫化水素濃度の確認はいつしているのか？

→毎朝測定を実施している。その結果をもって交換時期の判断をする。週末等の休日を挟む場合は、早めに交換するようにしている。

・脱硫剤の交換作業は危険な作業だと思うが、交換時の作業マニュアルは作成しているか？

→マスクを着用して作業するよう定めている。脱硫装置のセッティングに関する方法は詳細部分が詰め切れていないこともありマニュアルは作成できていない。今後、マスク着用等の安全対策も記載したマニュアルを作成したい。

・交換作業のマニュアルは必ず作成してほしい。

→了解しました。

・講じた対策による効果が判明するようなデータがあれば示してほしい。

→了解しました。

(搬入実績について)

・混合廃棄物には、排出業者(建設業者)が分別していないものと、中間処理業者が出している中間処理残渣の2種類がある。搬入実績では混合廃棄物としてまとめてあるが、この2種類を分けて集計できないか？この2種類の区別がつかない状態では埋立の場所を管理しているとしても埋立てた廃棄物の実態が不明になる。

→平成28年度当初に料金改定を行い、同時に廃棄物の品目についても整理を行った。整理した内容は、①製造業からの廃棄物については、混合廃棄物をなくし、廃プラスチック等の個別の品目で示すようにした。②建設業から排出されるものを建設系混合廃棄物とした。③中間処理業者から排出される中間処理残渣は管理型混合廃棄物とした。

(その他について)

・建設前の反対運動の時から現在までの経過があって今の状態である。

今後も、この施設で大きな問題が起きないように取り組んでほしい。埋立処分が終了して、山林にして返してもらいたいということを、新たに来られた方にもお願いしたい。

→機会がある毎にそのようなご指摘を頂けると、そのたび毎に過去の経過を振り返ることができるので、機会がある毎に原点の話をしていただけるのは非常にありがたいことと考えている。組織として初心を忘れず対応させていただきますので、今後もよろしくお願ひしたい。

◎次回、環境監視委員会は2月ごろに開催予定。